

グループC、D及びEに分類される図記号の今後の対応(案)

1. 今後の対応について

- ・グループC、D及びEに分類分けした「現行JIS図記号」及び「ISO図記号」の両方について、「理解度・視認性試験」を実施する。
- ・上記の「理解度・視認性試験」の結果から、ISO図記号に合わせるか否かの検討を行う。

2. 「理解度・視認性試験」及び「~~外国人に対する比較調査~~」の実施方法について

- (1) 対象項目:グループC、D及びEに分類分した「現行JIS図記号」及び「ISO図記号」の両方
- (2) 対象者:昨年度・今年度実施した(公財)交通エコロジー・モビリティ財団と同様。
 - ・日本人(高齢者、障がい者含む。)
 - ・米国、英国、中国、シンガポール
- (3) 実施方法:昨年度・今年度実施した(公財)交通エコロジー・モビリティ財団と同様。
 - ・ウェブ調査

以上